

# 「頑張る」 「地元企業」

## 安定した電力供給を 支える

### 大原電業（原町）

送電、発電、内線工事の「大原電業（株）」（長岡市原町2、大原興人社長）は、電力の安定供給

実現に貢献している。同社は新潟県中越地震、同中越沖地震と2度の大地震でも活躍した。災害時

の迅速な電力復旧に努めた。電柱による配電ではなく、発電所から電気を

変電所へ送る特別高圧線や鉄塔の管理、補修を中

心に業務を行っている。東北電力の鉄塔の管理などが業務の70〜80%を占めるとい

う。長岡市内の長岡変電所や新潟変電所など県内約120カ所の変電所のメン

テナンスを手掛けているほか、高速道路の電気照明や学校の電気設備整備なども行う。このほ

か、「シティホールプラザアオーレ長岡」の電気設備工事にも、特定共同企業体（J-V）として加わった。



（右）ヘリコプターによる山地への資材運搬

（下）変電所で送電線の作業をする社員たち



#### 補修作業も



大原電業に設置された自動電気自動車充電コンセント

の棒をつけ、資材を人間の力で引き上げ、取り付けをする「台棒工法」も用いる。

安定的電気を確保する態勢を整備

災害時などに電力供給を確保するために、同社では保守、点検に力を入

れており、積雪時にはスノーモービルを使用して山地の鉄塔へ向かうこと

#### 補修作業も

の棒をつけ、資材を人間の力で引き上げ、取り付けをする「台棒工法」も用いる。

安定的電気を確保する態勢を整備

災害時などに電力供給を確保するために、同社では保守、点検に力を入

れており、積雪時にはスノーモービルを使用して山地の鉄塔へ向かうこと

もあるという。同社では、「安定的に住民に迷惑をかけずに、電気を確保するための態勢を整えている」としている。

また、架線工事、送電線の下にある構築物、横断物、樹木などに影響を与えずに行う必要がある。機械化・自動化に限

界があるため、熟練した人の技が必要になるとい

う。しかし、近年は送電線工事の発注が減少傾向にあり、電気就職希望者も少ない。架線技術・技能の継承が難しくなっていることが、送電事業界では問題になりつつあ

る。同社には現在、社員が61人おり、平均年齢は38歳。入社後すぐに離職する例はほとんどなく、社員の定着率は高いとい

う。新卒者も積極的に採用しており、技術の伝承にも努めている。同社の八子達也業務部長は「高

このほか、同社では、県が電気自動車（EV）普及のために取り組む「街中充電ネットワーク」にも参加している。

同社の八子部長は「電気の安定供給に努めるとともに、従業員が安心して仕事ができる職場にしていきたい。多くの市民に知ってもらえる会社になるよう、本業を頑張っていきたい」と語って

いた。